



第6期(2020)CP研究会/第3回目

一般社団法人日本コミュニティファーマシー協会(JACP)では「患者のための薬局ビジョン」で掲げられているかかりつけ薬剤師・薬局機能、健康サポート機能、高度薬学管理機能修得のための知識、技術、態度、コンピテンシー涵養の研修会を開催します。

オンライン配信研究会

第6期CP研究会第3回目(9月)はコロナ禍で延期をしておりましたが、Zoomによるオンライン配信研究会へと変更します。時間も日曜日の朝に行います。

2020年4月の調剤報酬改定で、特定薬剤管理指導加算2(100点)が新設されました。抗悪性腫瘍剤又は制吐剤等の支持療法につき患者フォローアップを行い、保険医療機関への情報提供を行った場合に算定できます。施設基準として、保険医療機関が実施する抗悪性腫瘍剤の化学療法に係る研修会に当該保険薬局に勤務する常勤の薬剤師が年1回以上参加していることとなっています。コロナ禍で医療機関もZoomの研修会を開いています。オープンにしているところもあり、今回の演者の所属機関である関西電力病院でも都道府県を越えての参加者があったと聞いています。

今回は関西電力病院薬剤部の眞継賢一先生にお願いしております。眞継先生は「抗がん薬おさらい帳」(じほう)の著者のひとりです。

抗がん薬に関する本は取っつきにくいものが多いのですが、この本は抗がん薬の処方箋を調剤したことがない薬剤師でもわかりやすく書かれており、薬局薬剤師にはバイブルのような本になっています。今回の講演では、いくつかの症例を通してがん化学療法についておさらいし、薬剤師の視点だけではなくがん患者さんに関わる職種の見点についても整理していきます。また病院から保険薬局への切れ目のない薬物療法実現のための関西電力病院の取り組みについても紹介します。

- 日 時/2021年1月17日(日)9時30分~12時45分
- 場 所/Zoom によるオンライン配信
- 定 員/80名(定員になり次第締め切らせていただきます)
- 対 象/JACP会員
- 受講料/JACP会員:3,000円
- 主 催/一般社団法人 日本コミュニティファーマシー協会(JACP)

<第6期CP研究会・第3回>

薬局で取り組む がんの薬物療法と副作用対策、 医療機関との連携

ヒューマニズムのあるチーム医療に向けて
取り組んでいること(がん)

関西電力病院薬剤部 眞継賢一

*日本薬剤師研修センター認定単位2単位申請中

参加申込はWEBで

<http://www.ja-cp.org>